

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	陽光学園 久が原幼稚園
活動日時	令和7年5月22日(木)
クラス名(年齢)	つき組(5歳児)

1. 活動のテーマ

《テーマ》

《テーマの設定理由》

鏡の不思議ワールドへ
ようこそ!(鏡)

- 鏡に写るとどう見えるのか?
- 鏡の角度を変えてみるとどうなるか?

2. 活動スケジュール

- 約束の確認
- 鏡の不思議

3. 探究活動の実践

《活動の内容》

- 活動のために準備した素材や道具

• 大きい鏡(2枚)・絵・小さい鏡(2枚)・小さいマスコット・鉛筆・プリント

- 環境設定

• 部屋から椅子を持ってきて、並べた。 • 机6台

4. 活動中の子どもの姿や声、子ども同士や教諭との関わり



◎～時計が描いてある紙を見せて～

- 先生:「どう思う?」
子ども:「12が21になっている。」
子ども:「全部逆になっている。」
子ども:「間違っている。」

- ◎ 先生:うしが書いてある紙を見せて、「どうかな?」
子ども:「し(ひらがな)が反対。」
子ども:「うが反対。」
子ども:「うのてんが反対。」
子ども:「違う!」



- ◎ 先生:「では、正しく見る方法はある?」
子ども:「鏡!」
先生:「鏡をどうする?」
子ども:「鏡に写す。」



◎鏡で映してみると・・・

- 先生:「時計は何時ですか?」
全員で:「9時!!」
子ども:「鏡で見たら、ちゃんと見えた。」
子ども:「鏡は反対に見えるんだね。」◎

- 先生:「うしの方はどうなってる?」
子ども:「字が反対になった。」
先生:「牛の絵はどうなった?」
子ども:「牛が細くなってる。」
子ども:「黒いところが反対になった。」



◎次の絵を見せて鏡を真ん中に置いてみると・・・

- 先生:「どうなったかな?」
子ども:「なんか男の子が笑ってる。」
子ども:「虹がつながった。」
子ども:「足が開いた。」
子ども:「雲がなくなってる。」
子ども:「両手が上がってる。」



◎もう片方に鏡を置いてみたら・・・

先生：「どうなると思う？」

子ども：「虹がなくなっちゃうかも。」

子ども：「海が消えるかも。」



◎クモの絵を見せて・・・

先生：「クモの巣ってどうなってたっけ？」

子ども：「ジェスチャーを交えて「かくかくしてる。」

～鏡を準備している時～

子ども：「何が起きるんだろう。」興味津々！！

～鏡に写してみると～

子ども：「クモの巣が大きくなった。」

～もう1枚の鏡を出して～

先生：「どうしたらくもの巣になるかな？」

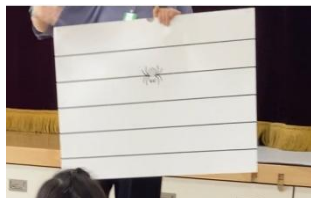
子ども：「鏡をくっつける。」

子ども：「鏡と鏡をくっつける。」

子ども：「鏡と鏡を合わせて開く。」

～鏡をくっつけて開いて行くと～

全員：「クモがいっぱい増えた！」



◎ケーキの絵を見せて・・・

先生：「このケーキを丸くしたいんだけど・・・。」

子ども：「鏡をくっつけて合わせる。」

先生：「丸くなるかな？」

子ども：「絶対なるなる。」

子ども：「なった！なった！」

先生：「鏡をくっつけて、開く事を合わせ鏡って言うんだよ。」

先生：「みんなもやってみよう？」

子ども：「実験してみたい！」



◎～実際に実験してみた～

子ども：「桜になった。」「雪の結晶になった。」

「うさぎになった。」

「3になった。」

「ハートになった。」

子ども：「おもしろい！」



◎～2枚の鏡を使ってハムスターを増やしてみよう～

子ども：「3匹になった。」「5匹になった。」「12匹になった。」

子ども：「見てみて！」

◎ 先生：「鏡を丸めるとどうなるかな？」

子ども：「・・・？」「太ってる。」

先生：「逆に曲げたらどうなるかな？」

子ども：「小さい。」「細く見える。」



5. 振り返り（振り返りによって得た先生の気づき）

- ・前回の「かがくタイム」がとても楽しかったので、子どもたちは始まる前から期待度100%だった。
- ・子どもたちにとって、身近な「鏡」を使った実験だったので、興味津々だった。
- ・予想したことを実験して、すぐに結果が出るので理解がしやすい。
- ・合わせ鏡でクモの巣ができたり、丸いケーキになったり、変化を実際に見ることが出来て良かった。
- ・「家でもやってみよう」という声が多く聞かれた。
- ・次の日「鏡の実験やったよ。」と報告してくれた。